

(20) 事業者へのヒアリング (その7)

歩道整備と一体となった工場外周の植栽

／株式会社 デンソー

取組のポイント

- 地方公共団体が行う歩道の拡幅整備にあわせて、敷地外周の植栽整備を行うことにより、景観形成の効果を高めている。

① 敷地外周のコンクリート塀を取り壊し、四季の感じられる花や木々を植栽。

- 社員の車通勤（約 4000 人）による交通渋滞、工場周辺の閉鎖的な塀など、駅周辺部に大規模工場が立地することで、地域の方々へ影響を与えてきた。
- 地域の環境を少しでも改善するために、市民の目に直接触れる敷地外周で、コンクリート塀を取り壊し、シースルーのフェンスにするとともに、四季の感じられる花や実のなる木々を植栽した。
- これら敷地外周の植栽は、歩道整備（刈谷市）と一体的に行うことにより、景観形成の効果が高まっている。

<工場南側>

従後



- さらに、本社環境活動計画に基づき、各部署が通勤路の清掃活動を自主活動として実施している（昼休みを活用）。



② ビオトープの取り組み

- 安城市・高棚製作所において、工場からの処理済みの排水を利用したビオトープ公園を整備し、地域に開放している。
- 広さは約 1500 m²で、排水処理場できれいにした水を放流し、ホタルなど珍しい生物が生息している。



③ 行政のリーダーシップ、先導的な取り組みと企業との協働が重要

- 景観形成は、地域により方向性が異なる場合があり、行政から地域の実情にあった方針を明示されることで、企業としても協調しやすくなる。
- つまり、道路などの公共空間整備と一体的に取り組むことで、官民一体のより良好な景観形成を図れる。

株式会社 デンソー

事業内容 : 自動車関連事業、産業機器事業

本社所在地 : 愛知県刈谷市昭和町 1-1